

(案)

こどもっとKOBE



＼神戸っ子／

すこやかプラン2029

2025-2029年の計画

みなさんは、一人ひとりがとても大切な存在です。
みなさんが、毎日を健やかに楽しく過ごし、
自分らしく成長できるように、
子育てする人も含めて、地域の人と一緒に
社会全体で支えていくことがとても大事だと考えています。

この計画は、みなさんが幸せに暮らせるまちにしていくために、
神戸市がこれからの5年間でどのような取り組みを行い、
どのような神戸市を目指していくかを考えて作りました。
これからもみなさんの意見を聞いて、取り組みを進めていきます。



みなさんの“やってみたい”を大事にします

“行きたい、居たい”居場所づくり

児童館をはじめとしたこどもの施設しせつでは、ルールやイベントづくりにみなさんと一緒に取り組むなど、みなさんが「ここに居たい」と思う居場所にしていきます。

そこでは、みなさんがやりたいことにチャレンジできるように応援おうえんします。おうちや学校以外でも、地域の人いっしょと一緒に、ご飯を食べたり勉強しながらみなさんが過ごせる、温かい安心できる「居場所」をつくります。

意見を伝える・意見を取り入れる

みなさんは社会の一員です。

日々過ごす場所のことだけでなく、まちや暮らし、将来のことなど、みなさんが意見を伝えることができ、その意見が大切にされるよう取り組みます。

すべてのこどもが大切に守られるまち

みなさんが安心してやりたいことにチャレンジでき、意見を言えるよう自分のこころや体のこと、命の大切さを知り、自分に権利があることを知ることができるような機会づくりに取り組みます。

大人は、いじめや虐待ぎゃくたい、暴力などからみなさんを守るために行動していきます。

困ったとき、悩んだときはいつでも近くの大人を頼たよってくださいね。



だれでも安心して成長できる環境づくりをします

みなさんが、困ったことなやや悩みがあるときは、学校や普段利用する児童館ふだんなどの大人のいる施設しせつで相談できます。

直接言いにくい内容などは、いつでも気軽に手紙や電話、インターネットなどで相談できるようにします。

さまざまな理由から家族とはなれて生活することになっても、こどもが安心して幸せかんきょうに暮らせる環境を整えます。

成長がゆっくりなこどもや障がいがあるこどもの状況に応じた支援で、みんなと一緒いっしょに成長できる機会や、一人ひとりが願う居心地よい過ごし方ができる環境づくりをしていきます。

日本語が話せないこどもや、お金に困っていたり、こどもが家族のお世話をしていたりするなど、おうちの状況じょうきょうによって、こどもの学んだり、遊んだりする機会がうばわれることがないように取り組みます。

みなさんの家族を支えています

赤ちゃんがいるおうちの見守りや子育ての支援しえんをはじめ、病院にかかるお金や学校の給食費、高校に通う電車・バス代など、みなさんが大人になるまでの間、みなさんの家族を支えています。

また、子育てする人が、みなさんと過ごす時間を大事にできるように、会社などにも一緒いっしょに取り組んでもらいます。



こどもにやさしく、楽しく過ごせる まちづくりをしていきます

神戸ならではのあそび場づくり

海や山の豊かな自然やたくさんの公園・児童館など神戸ならではのあそび場づくりを進めます。

思い切り体を動かしたい、雨でも遊びたいなど、みなさんの声を受けて取り組みます。

おでかけしやすいまちづくり

みなさんやみなさんの家族が安心して外出できるよう、市の地下鉄・バスの運賃やちゅうりんじょう駐輪場の料金を安くするなど、誰もが気軽に使いやすいようにしていきます。

市の科学館や動物園、美術館を無料にするなど、新しいことやワクワクすることふに、気軽に見たり触れたりできる機会が増えるよう取り組みます。

これらの居場所やあそび場、相談先などを分かりやすく発信していきます。また、神戸のまちが一体となって、こどもや子育てにやさしいまちとなるよう取り組んでいきます。

